第７次府中市男女共同参画計画（案）へのパブリック・コメント手続きの実施結果について

１　実施期間　　令和６年１１月２３日（土）から１２月２２日（日）

２　意見の件数等

意見件数	提出者数	意見の提出方法別人数				
		電子申請	ファックス	郵送	意見箱投函	窓口
23	5	3	0	0	2	0

３　意見の概要等

番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
1	基本目標Ⅰ－課題３ 施策⑴子育て家庭への支援	矢崎小学校に子供を通わせているが、学童は使いづらい。学童は3年生まで受け入れ可。しかし人数も多く床面積に対して児童の人数が多すぎる。人数が多すぎるため、4年生以上は一切受け入れしてもらえないため非常に不便。 仕事と育児・家事の両立としての対策が不十分に感じる。根本的に両立出来るような支援が必要。例えば年収制限をかけて家政婦さんの派遣を補助するなど、そういった具体的に家事を楽にするための施策に踏み切ったほうが早い。	放課後の子どもの居場所については、様々な課題があることから現在策定中の「こども計画」に基づき、取り組んでまいります。 国は政府全体のこども施策の基本的な方針を示した「こども大綱」の中で「子育て当事者への支援に関する重要事項」として、共働き・共育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大に取り組むとしております。今後の国や東京都の動きを注視しながら府中市の支援施策について検討してまいります。
2	基本目標Ⅱ－課題２ 施策⑴学校における男女共同参画の推進 基本目標Ⅲ－課題１ 施策⑴暴力の根絶に向けた取組の推進	子供の性差に対する考え方を修正する機会については出張授業を小学生から高校生・ 大学生まで幅広く行う。命の大切さ、コミュニケーションの方法としてのアサーションやハラスメント、交際といった付き合い方や相手を尊重する方法・性差などについてきちんと学ぶ機会を継続して各学年年1回行う。	学校教育においては、児童・生徒がジェンダー平等や命の大切さ、他者を尊重する意識を身に付けられるよう、関係課と連携を図りながら、学習指導要領に基づき人権教育を実施してまいります。 さらに、デートＤＶの被害者となりやすい大学生を対象に、市内大学に協力いただき、デートＤＶを防止する意識啓発講座を実施しております。 現在、高校生を対象とした意識啓発講座を実施していないため、ご意見を踏まえ検討してまいります。
3	基本目標Ⅰ－課題２ ⑴就業のための支援	府中市内の雇用で扶養内のパートの求人が少なすぎる。大体がフルタイムが条件のため労働の受け皿がないので両立に悩むのは当たり前かと。	基本目標Ⅰ「女性活躍の推進とワーク・ライフ・バランスの実現」の施策「⑴就業のための支援」の施策において、頂いたご意見を踏まえ、仕事や家庭、自身の生活の両立ができるようライフステージに応じたキャリア支援等の具体的な事業の展開を検討してまいります。
4	基本目標Ⅰ－課題２ ⑶市職員の男女共同参画の推進	企業については府中市の議会・市役所内の職員に女性の活用や役職者に積極的に採用する、役職者になるためのステップアップの機会を多用する。そして府中市の取り組みを企業にPRしていくことが必要。	職員の女性活躍推進の取組につきましては、府中市特定事業主行動計画のもとで取り組んでまいります。 なお、取組状況につきましては市ホームページにて公開しております。

番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
5	基本目標Ⅰ－課題３ 施策⑴子育て家庭への支援 基本目標Ⅲ－課題２ ⑶困難な問題を抱える女性への支援	妊婦健診の補助が低すぎる。毎回1万円や5千円ほどの個人負担が必要となるため正直負担に感じている。補助ではなく負担を0円にしてほしい。また初期の妊娠に対しても補助をしてほしい。まだ5週目にもかかわらず、状態が不安定なため何度も病院に行きすでに1万円以上の診察代を支払っている。出産の費用も国からの50万円では足りない。多摩地区の病院を調べると通常分娩でも20万円は超えるため府中市独自の補助が必要。国分寺市国立市では産後宿泊の補助があるにも関わらず、府中市はそういった補助があるのか分からない。無いのであれば早急に制度を整えないといけないし、あるのであれば周知に力を入れたほうが良い。また明石市のような助産師さんがおむつを届けてくれる事業が必要。産後の女性の孤独は壮絶な辛さである。市役所内の女性職員や貧困女性の声をもう少し男女共同参画に生かしてほしい。	妊娠期から子育て期における経済的支援として、出産一時金の引き上げや妊婦健康診査の助成、妊娠時と出産時にオンラインクーポンを配布する出産・子育て応援事業の実施など、母子の健康維持及び増進とともに、出産に係る母親とその家庭の経済的負担の軽減を図っております。 また、産後の母親への支援として、市内の医療施設等においてデイサービスやショートステイを実施する産後ケア事業や助産師等による新生児訪問を実施し、母親の心身の安定や育児不安の軽減等を図っております。 いただいたご意見を踏まえ、各種サービスの周知を充実するとともに、子育て家庭への支援を継続してまいります。
6	基本目標Ⅱ－課題１ 施策⑴意識啓発の強化（広報・啓発活動の拡充）	多摩川近辺の施設やイベントが充実していないのでそのあたりの拡充をしてほしい。産後のボロボロの体で府中本町駅の坂は登れない。	男女共同参画センター「フチュール」等の公共施設では、親子や女性を対象としたイベント・講座等を実施しております。ご意見を踏まえまして、今後も参加しやすい企画検討をしてまいります。
7	全体	全体として文言の点ですが、「男女が」というところを「性別にかかわらず」または「性差をこえて」としたらよいのではないでしょうか。	頂いたご意見を踏まえ、表現を一部修正いたします。
8	全体	基本計画の順ですが、ジェンダーイシューはすべて人権問題です。Ⅲが第一、その次にⅡ、そして具体案としてのⅠとすべきではないでしょうか。	第７次府中市男女共同参画計画は、第６次府中市男女共同参画計画の体系を踏まえ、この順序としております。本計画は、日本国憲法及び男女共同参画社会基本法を基本として、順序にかかわらず、すべての基本目標を基本的人権尊重の理念のもとに推進し施策を展開してまいります。
9	目標指標	目標指標を取り入れたとありましたが、公にこれを挙げる事はとてもいいと思いますが、その内容が相談件数のＵＰや用語の認知度やフチュールの認知度だけ、となると、それはむしろ要らないのでは？となる。 審議会の女性採用のＵＰはいいと思いますが、ここで足りないのはすべての審議会に両性４０％以上というのも不可欠です。	相談窓口の周知度や男女共同参画関連用語の認知度は、男女共同参画への市民の関心度を測る一つの指標と考え、目標値として設定しております。 また、審議会等の市政の決定の場へ女性が参画しやすい環境を整備することは、今後の取組みにおいて重要と考えております。ご意見を踏まえ、取組を検討してまいります。
10	世界の動向 国の動向	P4世界の動向というタイトルの割には、内容の半分は世界に向けての国内の動きであって、世界の動向、とするには内容が薄い。“ＵＮウィメン日本事務所”のＨＰや“ＵＮウィメン日本協会”のＨＰを参考に、現状を列挙するといいかもしれません。P5直近の動きとして、ＤＶ法、選択制夫婦別姓、同性婚、被扶養者の労働問題（いわゆる１０３万円の壁問題）も、現状としてあげるべきと思います。	ご意見を踏まえ、内容を一部変更・追記いたします。
11	基本目標Ⅰ－課題１ ⑶地域活動における男女共同参画の推進	Ｐ１９の１２．１３．１５は、地域活動における男女共同参画の推進とはほぼ関係のないもの、市民一般市制、一般のものと思えます。	家庭、地域、職場、教育現場等での男女共同参画のニーズは多様化し、また、課題は複雑かつ重層化しております。ニーズへの対応や課題解決に向け、行政だけでなく、様々な民間団体やボランティア等との連携・協働を進める必要があると考えており、各団体やボランティアが男女共同参画の視点を以て活動できるよう、意識啓発を進めてまいります。

番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
12	基本目標Ⅱ－課題２ (3)男女共同参画の視点に立った地域防災及び防犯の推進 基本目標Ⅲ－課題２ (2)性的マイノリティへの理解促進と支援の充実	Ｐ４１～４３、災害対策への性的マイノリティーへの配慮や、その事に関する職員への教育など、少し細部にふみ込んだ内容があってもいいのでは。	災害対策を含め、多様な性のあり方が尊重され、多様性を認め合う社会の実現を目指して、性的マイノリティへの理解促進と支援の充実に努めてまいります。
13	基本目標Ⅱ－課題２ (2)市民活動の支援と人材育成	№５０．５１．５３（５３が１３となっている）も、男女共同参画計画とはほぼ関係のないものと思われます。	家庭、地域、職場、教育現場等での男女共同参画のニーズは多様化し、また、課題は複雑かつ重層化しております。ニーズへの対応や課題解決に向け、行政だけでなく、様々な民間団体やボランティア等との連携・協働を進める必要があると考えており、各団体やボランティアが男女共同参画の視点を以て活動できるよう、意識啓発を進めてまいります。
14	基本目標Ⅲ－課題１ (1)暴力から市民を守る地域づくり 基本目標Ⅲ－課題２ (3)困難な問題を抱える女性への支援	民間シェルター、警察、病院と、市との連携強化にはどうしたらいいか、相談窓口を常に開き、受け入れをし易く、切れ目のない援助につなげるにはどうしたらいいかの具体案を、数値目標の中に入れられないかも再考をお願いしたい。	庁内や関係機関との連携強化策について数値目標を設定することは困難ですが、困難な問題を抱える女性が適切な支援につながるための具体的な連携方策について、より連携して実施できるよう検討してまいります。
15	全体	３つの基本目標の各課題に対する施策について、課題ごとに「重点施策」を決め、本体系図に明示のうえ、各課題の解決に向けて効果的に計画を推進する必要がある。	本計画では７つの課題に対し、重点的に取り組んでいくものとして、２４の施策を設定しております。これらの施策を推進することで効果的に課題解決に努めてまいります。
16	目標指標	目標値について、何故その値に決めたかが分かるように、その根拠、理由を記載して欲しい。「指標の考え方、目標値の算出方法」欄の記載内容では、値設定の根拠、理由が分からないため。	ご意見を踏まえ、目標指標の「指標の考え方・目標値の算出方法」の記載文を一部修正・追記いたします。
17	基本目標Ⅰ－課題３ 施策(2)ひとり親家庭への支援	「ひとり親家族等の子どもへの学習・生活支援」に関する事業を追加し、記載して欲しい。	ひとり親家庭等については、母子及び父子福祉資金の貸付け等により子どもの学びを確保するために経済的支援を行っております。また、子ども・若者が経済的な不安を抱えることなく学業に専念できるよう現在策定中の「こども計画」に基づき環境の整備に努めてまいります。
18	－	「用語一覧」及び「用語が使用されているページ」を記載して、逆引きが出来るようにして欲しい。	ご意見を踏まえ、参考資料として対応を検討いたします。
19	－	参考資料として、「府中市男女共同参画に関する意識調査（令和５年度）」の実施結果を記載して欲しい。	ご意見を踏まえ、「府中市男女共同参画に関する意識調査（令和５年度）」の実施結果の参考資料への掲載方法を検討いたします。

番号	該当箇所	意見の概要	市の考え方
20	基本目標Ⅱ－課題１ 施策⑴意識啓発の強化（広報・啓発活動の拡充） 基本目標Ⅱ－課題２ 施策⑴学校における男女共同参画の推進	学校教育の場における男女平等について、平等と回答した市民が男女とも4割を超えている点については、家庭生活や職場などと比べると進んでいるのかもしれませんが、フラットに見たときに進んでいる数字なのかという観点では、少し疑問が残りました。また、小学生に比べ高校生、高校生の中でも上の学年の生徒の方が「男性/女性だから」と思う割合・「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う割合が高いのは、周りの環境や積んでいく経験から考えが変わっていくものだと思いますが、だからこそ、私たちの大人の考えや意識を変えていかないと連鎖が経ち切れなと思います。	固定的性別役割分担意識に基づく大人の行動や意識が子どもたちに与える影響があることから、ご意見を踏まえ、学校教育の場における意識啓発と共に、大人向けの男女共同参画の意識啓発を進めてまいります。
21	基本目標Ⅰ－課題３ 施策⑴子育て家庭への支援	どのような課題があるのか、そしてこちらに記載するべきなのか明確でない中で恐縮ですが、オンライン診療の拡充を市としても後押ししてほしいです。子供の体調不良などで、病院に半日などかかっていると子どもの年齢（体調不調が頻発する時期など）によって復職もしづらいです。オンライン診療が広がれば、子育てしている人だけではなく、多くの方がより働きやすく、健康的でいられる社会に近づくと思います。	オンライン診療の拡充について、本市では医療機関のサービス内容に関与しておらず、原則として民間企業の自主性に委ねておりますが、いただいたご意見については府中市医師会に情報共有いたします。 なお、診療とは異なりますが、妊娠や出産、子育てに関する相談機能の充実を図るため、スマートフォン等からオンラインで産婦人科医・助産師・小児科医に気軽に相談ができる「オンライン子育て相談事業」を実施しております。
22	基本目標Ⅲ－課題２ ⑵性的マイノリティへの理解促進と支援の充実	性的マイノリティーに関する言及が、第６次計画と比べて、増加している点が目につきました。ただし、都内の他市区と比べて、まだまだＬＧＢＴＱへの取組は少ない印象ですので、強化を期待します。	他自治体等の取組を参考にしながら、性的マイノリティへの理解促進と支援の充実に努めてまいります。
23	その他	本計画のリリースにあたり、冊子とＰＤＦデータだけではなく、ショート動画（①３０秒程度の注目を引くもの、②５～８分程度でサマリーを解説するものの）２点があると、若年層から高齢者まで、情報の接点が増えると思います。この動画を府中市公式YouTubeチャンネル（登録者約2,700人/１２月２０日現在）および、府中市公式ＬＩＮＥ（登録者25,240人）、府中市秘書広報課Ｉｎｓｔａｇｒａｍ（同3,205人）等の公式ＳＮＳから発信し、一人でも多くの市民に届くよう、「計画を立てて終わり」ではなく、「〇〇万人が読んだ」状態を目指してください。 本件について、担当課および「府中市男女共同参画推進協議会」等で議題とし、ご検討ください。	頂いたご意見を踏まえ、第７次府中市男女共同参画計画が一人でも多くの市民に周知できるよう、周知方法を検討いたします。